

アンベッサ オーガニック グロセリー アビシニア
AMBESSA & CO - Organic Grocery Abyssinia -



[創業年] 2010年(平成22年)

[売場面積] 19.4㎡(5.9坪)

[事業従事者数] 3.9人

[営業時間] 12:00~17:00

[定休日] 日月火水木金曜日

[商品構成]

- ・ドライフルーツ・ナッツ 75.0%
- ・製パン・焼き菓子類 20.0%
- ・農作物(米・梅・マコモダケ) 2.0%
- ・雑貨(衣類・バック) 3.0%

[店舗所在地] 千葉県南房総市白子 671-1

[URL・SNS] www.ambessa.jp

[経営理念]

「わたしたちは”PURE,NATIRAL&SUSTAINABLE”を合い言葉に、地球にも、生産者にも、そしてわたしたち自身にも優しい「自然の恵み」をお届けします。」という企業理念を掲げて、無農薬栽培・無添加という拘りの商品を全国の取引先及びウェブストアなどで一般のお客様へご提供します。

持続可能な暮らしを身近なカタチで提案

[お店の概要]

千葉県南房総市に移住した店主が、平成22(2010)年に開業。以来、一貫して持続可能な循環型社会を実現するための商品を、その売り方まで提案し、広めることで、成果を上げている。

開業当初は、卸売が主だったが、平成30(2018)年に、「土に還る」素材を使い、自らの手で店を建築したのが契機だった。近くの浜の砂、萱(かや)など土に戻せる素材を用い、屋根に太陽光発電設備を設け、使用する全ての電気をまかなっている。また、トイレは、発酵させて土に還すバイオトイレを設置した。

扱う商品は、ドライフルーツやナッツなど日持ちのする商品が主で、原産地の利益も考えるフェアトレード商品を仕入れている。現在は、週のうち土曜日のみの営業だが、ほかの曜日はインターネット販売を行っている。

【お店の経営ノウハウ】

循環型社会を具体的に進めるために国連の掲げた SDGs は、ともすると大手企業の CI に代表されるようにイメージが先行する。より身近な暮らしでどう実現するかが、課題となっている。そうした身近に具体的に実践できるあり方を同社は「商い」で提案する。たとえば、同店は、「量り売り」とし、客に用器の持参を呼びかけている。商品を買う行為が、パッケージを廃棄しないで済む行為につながっている。消費という「買う」行為が、使い捨てでない次の「生産」につながる生き方を仕組んでいる。

房総半島は、自然を生かした暮らしを実践する農業者や移住者が多く、同店は、そうした地域の仲間ともつながり、商品に生かしている。

ブランデーを醸造している「ミトサヤ薬草園蒸留所」に原料となる果物を卸し、そのブランデーを使ったお菓子を販売することで、地域内循環を行っている。また地域の農家のマーケットを店先で開いている。こうした取り組みは、Instagram などを使って、分かりやすく発信することで、地域外まで広く共感を集めている。



上：ミトサヤ薬草園蒸留所で販売されているお菓子。原料は当店が卸している。
下：商品は瓶入りで陳列され、量り売りで販売する。

店舗は、素材、リサイクル、環境の点に考慮した、建物の一角にはテイクアウトができる窓があり、店内に入らなくても商品を受け取ることが可能。

